

総務教育常任委員会資料

(平成30年3月20日)

【件名】

- ・ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について（教育環境課）…………… 1
- ・ 平成31年度鳥取県立高等学校一般入学者選抜におけるインフルエンザ罹患者等への追検査の実施について（高等学校課）…………… 2
- ・ 県内文化財の新規国登録について（文化財課）…………… 3
- ・ 国史跡青谷上寺地遺跡整備計画の検討状況について（文化財課）…………… 6
- ・ 鳥取県立美術館整備基本計画(中間まとめ案)及びパブリックコメントの実施結果について（博物館）…………… 別冊

教育委員会



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成30年3月20日

教育環境課

【変更分】

工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	摘 要
県立鳥取西高等学校整備事業 (9工区)(建築)	鳥取市東町 二丁目	株式会社千代田工 務店	契約金額 250,020,000円を 258,788,520円 (8,768,520円 増額)に改める	平成29年6月20日～ 平成30年3月15日	平成30年3月5日 (第3回変更)	(変更理由) 第二グラウンドの飛 砂対策のための土壌 改良剤の追加等

平成31年度鳥取県立高等学校一般入学者選抜における
インフルエンザ罹患者等への追検査の実施について

平成30年3月20日
高等学校課

インフルエンザ罹患者等に対する受検機会を確保するために、平成30年度に実施する平成31年度鳥取県立高等学校一般入学者選抜において、検査当日に、インフルエンザ等やむを得ない理由で欠席した生徒について、追検査を実施する予定であり、その概要について報告します。

1 追検査の対象者

学力検査当日、インフルエンザ等やむを得ない理由で欠席した生徒。(一部の教科でも受検した場合は、追検査を認めない。)

2 検査内容

一般入学者選抜と同様に学力検査を実施する。実施教科、検査時間及び配点については一般入学者選抜の検査内容と同様で、異なる問題とする。

3 検査日程

一般入学者選抜の検査日から数日あけて実施する。

4 検査会場

志願先高等学校

5 選抜方法

一般入学者選抜受検者と追検査受検者を併せて選抜する。

6 その他

対象生徒の範囲や提出書類等の手続きについては、今後検討する。

7 今後の予定

- ・5月 選抜方針の決定通知
- ・11月 実施要項説明会

[参考] 追検査を実施している都道府県

- 平成29年度入試：秋田県、静岡県、三重県、京都府、和歌山県、徳島県
- 平成30年度入試：秋田県、静岡県、三重県、京都府、和歌山県、徳島県
東京都、神奈川県、新潟県、福井県、山梨県、愛知県、大阪府、
高知県、長崎県

※その他の都道府県については、追検査以外の方法で対応、または対応を検討中。

県内文化財の新規国登録について

平成30年3月20日
文化財課

平成30年3月9日(金)、国の文化審議会(会長 馬淵明子 国立西洋美術館館長)は、下記の建造物を国登録有形文化財へ登録するよう文部科学大臣に答申しました。

記

1 文化財の名称

はやしだけじゆうたくしゆおく こめくら
林田家住宅主屋、米蔵 (鳥取市国府町) 2件

計 1箇所 2件

2 文化財の特徴等

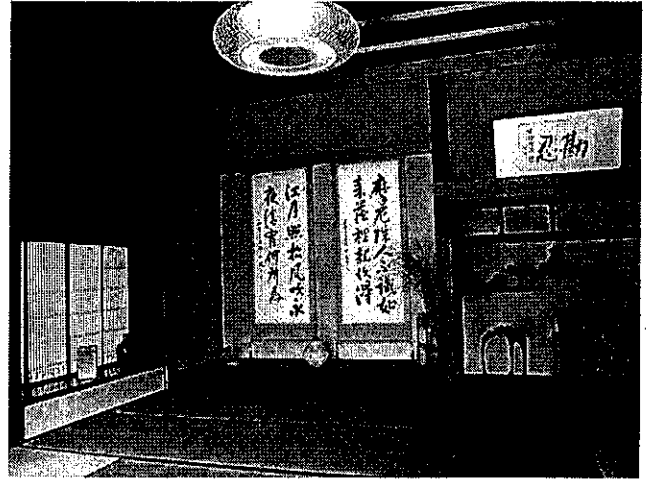
名 称	所在の場所	特 徴 等	建築年代
林田家住宅 主屋、米蔵	鳥取市国府町 岡益	敷地中央に主屋、前方に米蔵が建つ。 主屋は、木造平屋建て一部二階建、入母屋造の屋根は赤色棧瓦葺。一階は広間型七間取(ひろまがたななまどり)を基本とした規模の大きい住宅。4か所ある座敷では上質な材料が用いられ、それぞれ洗練された意匠でしつらえられるなど伝統的な民家建築の近代的展開を示す一例である。 米蔵は正面の庇と土蔵を繋ぐ梁をアーチ状にしたり、円形の柱の足元を八角形の礎石とするなど、洋風意匠を取り入れた軽妙な雰囲気土蔵である。 資料からも年代や建築の経緯が明らかな点でも貴重である。	主屋：大正9年 米蔵：大正5年



位置図 (Google mapより転載)



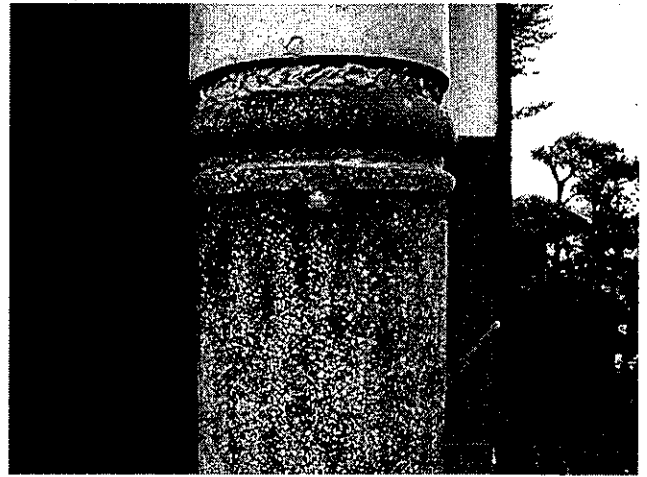
林田家住宅主屋外観
(写真提供：鳥取市教育委員会)



林田家住宅主屋内観
(写真提供：鳥取市教育委員会)



林田家住宅米蔵外観
(写真提供：鳥取市教育委員会)



林田家住宅米蔵 庇柱詳細
(写真提供：鳥取市教育委員会)

3 今回、国で答申が行われる建造物の概要

	今回答申分	累 計
登 録 数	196件	11,886件
関 係 市 町 村	55市町村	917市町村(区)
関 係 都 道 府 県	28都道府県	47都道府県
時代別登録件数	江戸以前	59件
	明治	44件
	大正	27件
	昭和	66件
		2,124件
		3,789件
		2,445件
		3,528件

4 鳥取県の状況

(1) 鳥取県の国登録文化財、国・県指定文化財総数（今回登録後・未告示含む）

国登録文化財	国指定文化財	県指定文化財
(224) 230	(18) 123	(23) 284

() 内は建造物の数

(2) 登録物件の所在する市町村の文化財件数（今回答申分含む）

	国登録文化財	国指定文化財	県指定文化財
鳥取市	(46) 48	(4) 30	(4) 113

() 内は建造物の数

国史跡青谷上寺地遺跡整備計画の検討状況について

平成30年3月20日
文化財課

国史跡青谷上寺地遺跡については、平成28年度から整備計画の検討を進めているところですが、整備計画の概要（ゾーニング案等）を取りまとめましたので、報告します。

1 整備活用基本計画の詳細化

国史跡青谷上寺地遺跡を適切に保存し、弥生時代の暮らしや社会を体感できる場として整備・活用することを目的に、平成21年度に整備活用基本計画を策定した。その後の調査研究成果や新たな手法を反映して整備を行うため、既存の計画を詳細化して基本設計につなげていこうとするもの。

2 検討の経過

平成28年度に、妻木晩田遺跡・青谷上寺地遺跡の学術的な発掘調査の方法・計画及び整備活用の方法・計画について審議する「とっとり弥生の王国調査整備活用委員会」に、考古学・史跡整備・芸術文化等を専門とする委員及び公募委員からなる整備活用部会を設置して検討を行っており、3月11日に開催した同部会において、以下の議論を行った。

3 基本計画の検討状況

(1) 整備活用のポイント

とっとり弥生の王国	妻木晩田遺跡とともに、山陰の弥生文化を情報発信
弥生時代の真実にせまる	魏志倭人伝が記す「倭国大乱」を物語る人骨の出土状況を展示
弥生時代の本物に感動	弥生文化の到達点にある優れた出土品を展示・活用
弥生文化を学ぶ	特色ある遺物や遺構をもとに弥生の生活や技術を体感
地域と共に整備・活用	新たな地域文化創出、地域振興の場として活用

(2) ゾーニング案

古代エリア	青谷横木遺跡の情報も交えて、古代山陰道などを表現。現代と弥生をつなぐ
弥生エリア	青谷上寺地遺跡の最盛期（2～3世紀）の集落像を整備
集落エリア	遺跡の中心として交易、生産などの拠点であった集落の整備
ものづくりエリア	木製品など、ものづくり体験の場として整備
倭国大乱展示エリア	大量の殺傷痕人骨が出土した地点で倭国大乱に関する情報発信の場を整備
湿地エリア	弥生時代の湿地環境を整備し、親水・自然観察のエリアとして活用
体験水田エリア	弥生時代の水田区画を整備し、活用
イベント広場エリア	体験学習やイベントにも対応できるエリアを整備
エントランスエリア (位置は引き続き検討)	駐車場、ガイダンス、出土品の収蔵展示施設を整備 (史跡指定地内での建設は不可)

(3) 整備活用部会の主な意見

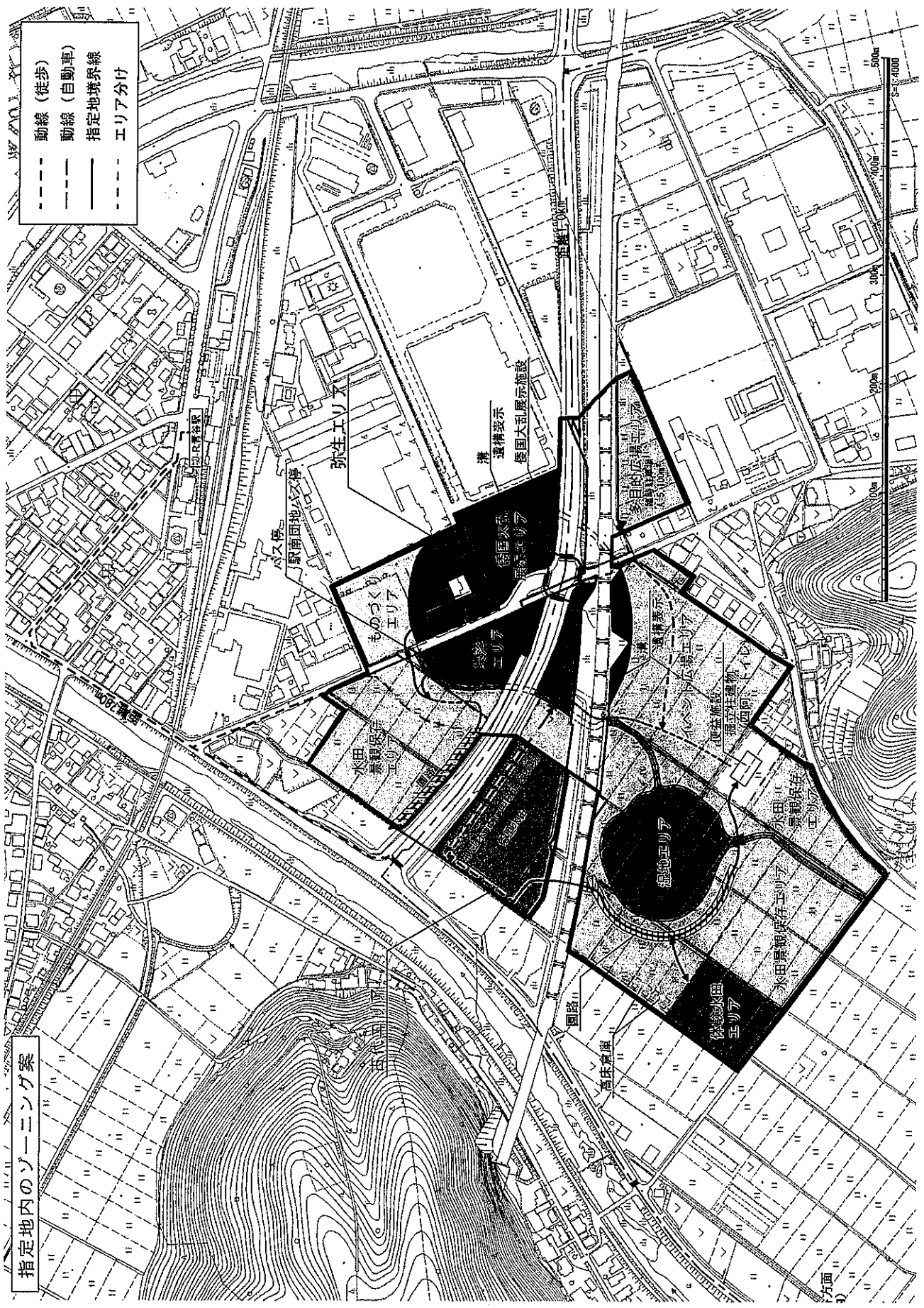
- ・ 現在も毎年発掘調査で新たな成果が得られており、今後も調査を続けることから、その成果を順次反映させる発展・更新型の整備を行っていく。
- ・ 青谷上寺地遺跡と海との関係性を表現することを検討するべき。
- ・ 史跡全体でデザインを統一するなど、景観づくりに配慮すること。

4 今後の予定

平成30年度	基本計画の最終調整、基本設計
平成31年度以降	工区を分けて実施設計・工事を段階的に実施し、完成した工区から随時公開

指定地内のゾーニング案

- - - 動線 (徒歩)
- - - 動線 (自動車)
- 指定地域界線
- - - エリア分け



(参考)

とっとり弥生の王国調査整備活用委員会 整備活用部会 委員名簿

専 門	氏 名	所 属 及 び 職 名	
考 古 学	深澤 芳樹	奈良文化財研究所 客員研究員	座長
考 古 学	柴田 昌児	愛媛大学埋蔵文化財調査室 准教授	副座長
史跡整備	前川 歩	奈良文化財研究所 研究員	
芸 術	棚橋 恭子	ヴィオラ奏者	
ものづくり	中島 佳代子	山陰sacca コーディネーター	
公 募	谷口 博文		
公 募	横山 光		